

認定栄養ケア・ステーション柏市連絡協議会提出資料

1. フレイル予防・健康づくり出前講座 <栄養>

9/7 一般社団法人「生きる」 9/26 柏市消費者の会 10/19 オレンジカフェ
11/24 永楽会 11/28 ふれあいサロン呼塚

2. フレイル予防応援プログラム (フレイルハイリスク者支援) <栄養>

フレイルチェックに 8 個赤丸のついた方に包括作成の支援計画に基づき、アセスメント、支援を実施いたします。運動、口腔、栄養の 3 つの専門職種が関わります。食べることができる口を作り、栄養を摂り、運動で体力・筋力・バランスを作ることがフレイルのハイリスクを改善するということを実感していただけたらと思います。このコロナ禍において高齢者のフレイル化が心配ですので、専門職で支援していきたいと思います。管理栄養士 9 名でサポート致します。

3. 自立支援介護予防個別会議と多職種包括訪問事業

地域包括支援センターにおける介護予防ケアマネジメントの向上により、地域の高齢者がより安心して自立していけるように自立支援及び重症化予防で、地域課題を共有し、住み慣れた地域で自立した生活が送れるように支援します。栄養士は 6 か所の栄養ケア・ステーション 11 人の管理栄養士でサポートさせていただきます。

食欲が落ちてきた・体重が減ってきている・摂食嚥下が心配などのケアマネージャーさんからの相談が増えてきました。まだ、介護度が低い低栄養の段階で栄養士にご相談いただけるように、システム作りを考え、気軽に栄養士に多職種が相談できるようになると良いと考えております。お気軽にお声をおかけくださいませ。

4. 栄養ワンダー2022 の開催 「食べる」をウオッチング!

日本栄養士会の栄養の日・栄養週間の日程に合わせて行いました。栄養ケア・ステーションは、地域住民のための食生活支援活動の拠点です。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けていくために私達栄養士がお手伝いをさせていただければと思っております。

順次、介護予防、低栄養、フレイルなどを発信していきたいと思っております。7/22 と 8/29 の 2 回、パレット柏で「食べる」ことは「生きる」こと。健康で生きる為にはどのように食べて行けばいいのかを地域住民の方にお伝えしました。地域包括支援課のご協力も頂きました。フレイル・よく見られるバランスの良い食事・よく見られるバランスの悪い食事のポスター展示・握力測定・指輪つかテストも行いました。

管理栄養士延べ 17 名と聖徳大学人間栄養学部学生有志 2 名が対応して、お客様の参加人数は延べ 160 名 (男 42 名・女 118 名) でした。

5. 包括主催の栄養講座

南部・南部第 2 包括 ケアマネージャーさんへ
柏東口第 2 包括 脳〜び伸び元気塾 19 名

認定栄養ケア・ステーション柏市連絡協議会 会長 中村信子